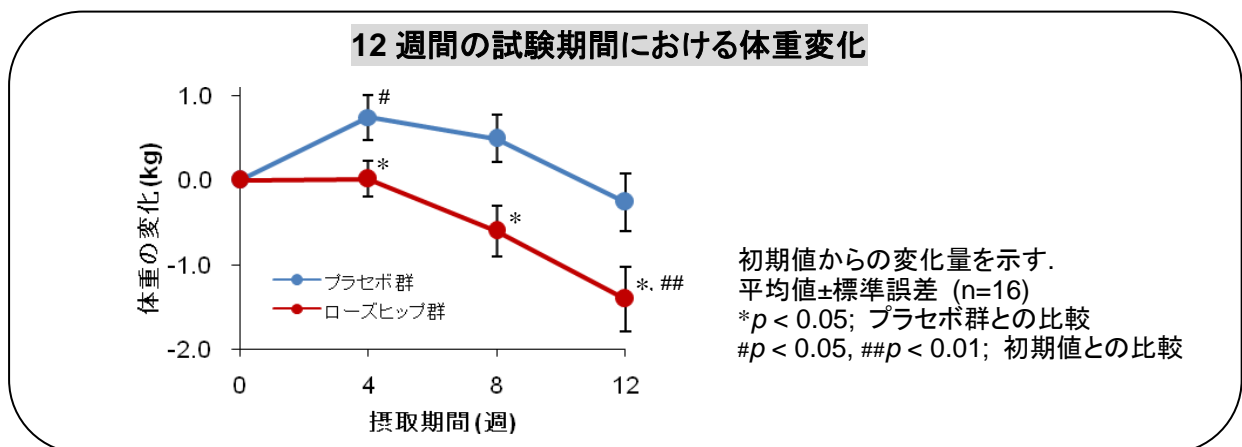


森下仁丹独自の機能性食品素材 「ローズヒップポリフェノール」の体脂肪低減作用を確認 - 第33回日本肥満学会にて発表 -

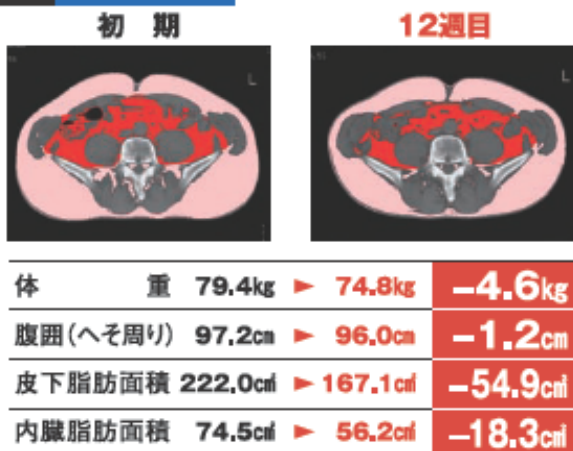
森下仁丹株式会社(本社:大阪市中央区、代表取締役社長:駒村純一)は、ローズヒップポリフェノールの体脂肪低減作用について、第三者機関によるヒト臨床試験を実施し、その研究成果を2012年10月11日よりホテルグランヴィア京都で開催されている「第33回日本肥満学会」にて発表致しました。

【発表の概要】

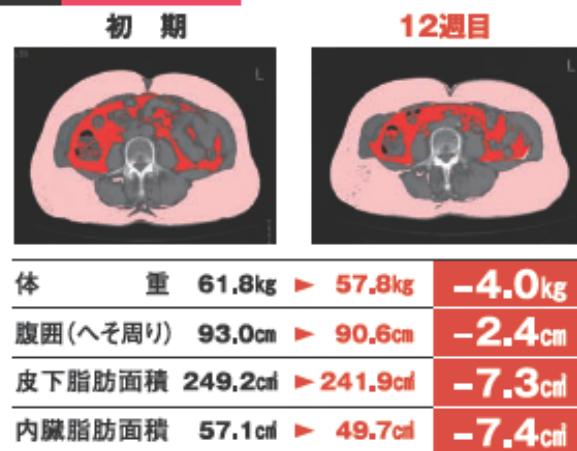
本研究は、肥満度I(Body Mass Index; BMIが25以上30未満)の健康な成人男女32名(男性16名、女性16名)を対象に、プラセボまたはローズヒップポリフェノール含有エキスを1粒あたり100mg配合したタブレット(錠菓)を一日1粒、12週間摂取して頂きました。その間、定期的に体重、体脂肪率、腹部CTによる脂肪面積などを測定しました。その結果、ローズヒップポリフェノール含有エキス配合錠菓摂取群の体重、内臓脂肪および皮下脂肪面積が有意に低下しました。



Case1 男性(53歳)



Case2 女性(64歳)



【リリースについてのお問合せ先】

森下仁丹株式会社 広報・宣伝部 磯部・花田 TEL:06-6761-1134 FAX:06-6761-8108
 共同PR株式会社 第四業務局 担当:長尾・呉 TEL:03-3571-5275 FAX:03-3574-1005



【参考資料】

▼演題・発表者

「ローズヒップポリフェノール含有エキス配合錠菓の体脂肪低減作用」
森下仁丹 長友暁史、西田典永

▼演題番号・発表日時

P-134
10月11日 18:15～(ポスター発表)

▼研究の目的

近年、深刻な社会問題となっているメタボリックシンドロームの予防・改善に有用な機能性食品素材として、森下仁丹は強力な体重増加抑制作用をもつローズヒップを見出し、その活性成分 tiliroside(ティロロサイド)を同定しました。これまで、肥満モデル動物などでその効果やメカニズムなどを検証してきましたが、ヒト臨床試験は未実施のままでした。今回、軽度の肥満とされる肥満度Ⅰの方を対象に、より客観性の高い結果の得られる二重盲検法により第三者機関でのヒト臨床試験を行いました。

▼結果と考察

ローズヒップポリフェノール含有エキスを100 mg 配合した錠菓を一日1粒摂取した群は、プラセボ群と比較して、12週間後の体重が有意に減少しました。また、腹部CTによる断面写真から算出した皮下および内臓脂肪面積についても、ローズヒップポリフェノール含有エキス配合錠菓摂取群はプラセボ群に比べ有意に低下していました。試験中は医師による診察や血液検査・尿検査も実施し、試験食品による体への悪影響は観察されませんでした。よってローズヒップポリフェノールは、メタボリックシンドロームの予防・改善に有用な安全性の高い食品素材であることが確認されました。

▼日本肥満学会について

日本肥満学会は、肥満に関する問題の究明及び解決のための研究発表、情報交換、啓発を目的として、1980年、肥満研究会として発足しました。会員は医学研究者、一般医師、看護師・栄養士・臨床検査技師・薬剤師などのコメディカル関係者、農学・理学・薬学研究者などで構成されており、会員数は2,800名に達します。発足当時より、食欲の調節、脂肪合成分解における自律神経の関与、実験肥満の成因と病態等の研究で国際的に指導的な役割を果たしてきましたが、現在も肥満の分子生物学的研究で先端的研究を行っています。

▼弊社の肥満・メタボリックシンドローム予防研究に対する取り組み

弊社は、長年の生薬研究のノウハウを元に、肥満・メタボリックシンドロームを予防する機能性食品素材研究について、たゆまぬ努力を続けております。

ローズヒップにつきましては、2011年10月6日に弊社の独自機能性食品素材「ローズヒップポリフェノールEX(一般名称:ローズヒップエキス)」が、公益財団法人 日本健康・栄養食品協会の「健康食品の安全性自主点検認証(安全性に関する第三者認証)」の登録を受けるなど、その安全性・信頼性の向上にも注力しています。

弊社は、今後も独自の機能性食品素材の研究開発を進めるとともに、安心して安全な商品をご利用頂けるよう更なる安全性・信頼性の向上を図り、皆様の健康増進に寄与して参ります。